市高だより 第60号 2015.1.25

発行 伊丹市立高等学校



〒664-0027 伊丹市池尻 7-108

TEL 072-772-8568

FAX 072-770-8979



学校紹介 ~その60~

☞2学期終業式

12月24日(水)に終業式を行いました。

校長先生から、ある大学で取り組まれているバイオコークス研究についてお話がありました。









バイオコークスの研究は、東日本大震災で放射能に汚染した植物やがれきを加工し、燃焼させることで大きなエネルギーを得るとともに、灰にして処分場の縮小を図るためのもので、研究を担当した教授は「予算が少ない中大変だったが、失敗しても成功しても、その時その時を楽しみながら取り組んだので苦しいとは思わなかった。現状に満足せず目標を持って頑張ることでモチベーションを保つことができた」と話されたそうです。

「卒業しても目標を持ち続けて欲しい。そして、 その時その時を楽しみながら努力を続けて欲しい」 卒業を控えた4年生達は、真剣に校長先生の話を聞いていました。

終業式に引き続いて行われた表彰式では、各種検 定の合格者や、市高だより58号でも紹介した「地 区衛生組織活動推進功労団体」感謝状が披露されま した。





☞石川君が「元気 UP じんけん」に掲載されました



今をどう生きる

版神 石川 康さん

機は、もともと異数に行く気がなく、「行となく間 した」という感じでした。だから、高校生活は最終さ る気がしませんでした。しかし、いざ学校が始まると 思った以上に張日く、あっという種の4年間だったよ

その個、保は大きく奴隷しました。 ます。アルバイトの開発から、仕事の届しさ言葉から ました。「いつきでも数えてもらえると思わず。自分 学のあたがすること」「仲間間間は自分の責任。自分が 伴むことで、人に負担が悪感をかけてはいけないとい こと」など、多くのことを呼びました。 テレア、事務がありました。自分のであると、自分

そして、原動が収えました。原動が収えると、飲かむ 身の心が低くなったように感じます。太だちも様えて 毎日が楽しくなりました。家族との会話を収え、一緒に 音事に出かける日が多くなるなど、以前よりも特徴くい ひました。 また、第のが見えるようになり、他の人の処容もを考 また、第のが見えるようになり、他の人の処容もを考

できまし、利力は、人と前後まであり、指手の経 ます機合、簡単した上で自分の意見を答すようなのかけ まり他。このすることに、他野かり歩くの上とを学るこ とかできます。 4号もの原は直野を決定する大力な時間です。様は、 信仰を発促していましたが、この中本領側して社会人 になって単位に関連を過ぎるのというないもからなり

4年生の度は直頭を決定する大切な時期です。様は、 信報を有望していましたが、「このまま開催して社会人 になって予想に満足の連携のからいう強いものきました。 しかし、自分かためたに募手信用係ろうと知め、夏 体みにも同日等のに高い能かました。 それなある日、人生を大力で支援人必定業がありまし

た、影響機関の経験や、難いさって先生方に「この主要 採取することに少し不安からか、漢字も考えています」 を書き機関のました。こっきり、(選字は機関)とか「数 機能機力と力がいより」と終われると思っていましたが、 その予算が実施に外にました。力力がは、熱心に他の話 に耳を伸び、一般で表えてくれました。このも 図がが比上からが動います。

有年の年重点、友人が各种の中で、「市店の先生は、ど この角生よりも緩身に使らに乗してくれます」と言って いました。その特は、何となくでしかその意味が分かり ませんでしたが、今なら分かります。

業性はの値です。しつかりとした大人になれるように は、 和音の失主や女人、アルバイトの経験から学んだことを 人 いわし、持りの際など活を観いないように過ごそうと 思います。「一日も存むことなく、しっかりと居代生を ったはよくこそれが(今)の計事です。

生活体験発大会での石川君の発表内容が、「元気 UP じんけん」に掲載されました。兵庫県人権教育研究協議会が発行するこの冊子は、1月12日(月)の成人の日に兵庫県下で行われる成人式で配布されます。お手にする機会がありましたら、是非ご一読ください。

☞3学期始業式

1月8日(木)、マルチメディアルームで始業式が行われました。校長先生から、「今年は阪神淡路大震災から20年目にあたる年。防災意識は『自分は大丈夫』という感覚の中では芽生えない。自分の命は自分で守る、という強い思いを持ってもらいたい」というお話がありました。





(消防庁ホームページより)

☞冬季遠足について

1月9日(金)、冬季遠足(USJ)に行ってきました。

年明け早々ということもあり、特に午前中は大変 すいていました。人気のハリーポッターエリアもご

覧の通り。

生徒たちは最後の遠足を満喫したようです。



ジュラシック・パーク・ザ・ライド

☞防災講演会について

1月10日(土)に、産業・情報センターで防災講演会を実施しました。災害に対する心構えや、防災・減災について考えてもらう機会として、認定 NPO 法人日本レスキュー協会の安隨隊員に講演をしていただきました。







安隨隊員はレスキュー犬とともに東日本大震災や 広島の土砂災害などの災害現場に赴き、活躍されて いる災害救助犬訓練士で、テレビや新聞でも多く取 り上げられています。講演の最後に、「現場に行って 強く思うのは、日頃の備えの重要さです。しつかり した防災意識を持っていれば自分の身を守ることが 十分可能です。寝ている周りにタンス等の家具はあ りませんか。一階で寝ている人はいませんか。寝て いるときに家具が倒れたり、建物が崩壊したりした とき、逃げることができますか。寝る場所を安全な 場所に変えることも防災や減災につながるのです」 と話されました。

1月の行事予定

January

1月25日(日)……全商簿記実務検定試験

26日(月) ……カウンセリング

28日(水)……4年生登校日·大掃除

2月の行事予定

2月 1日(日)……全商商業経済検定試験

2日(月)……カウンセリング

7日(土)……全商ビジネス文書実務検定

9日(月) ……カウンセリング16日(月) ……カウンセリング

20日(金)……職員室移転作業

※2月25日(水)より市高職員室が伊丹市総合教育センター3階に移転します

編集後記

神戸に向かう列車の中で何気なく景色を眺めていたとき、車窓に映る町並みと20年前のあの壊滅的な町の姿が重なって見えました。

復興を遂げた「人の力」のすごさ。震災を知らない世代がそこに暮らしていることの「不思議」。20年という年月の長さを改めて感じるできごとでした。